

そらべあ基金創立10周年記念セミナー 「再生可能エネルギー最新動向」を開催



6月15日(金)、第6回となる「そらべあ再生可能エネルギーセミナー」を実施。日本再生可能エネルギー総合研究所代表の北村和也氏の講演と、そらべあ基金理事も参加してのトークセッションを行い、約30名の出席者とともに、再生エネの現状と将来について情報を共有しました。

北村氏の講演では、まず世界の再生エネの現状についてお話ししていただきました。それによると、2017年の再生エネの比率は世界全体で約24%に達しており、中でもドイツでは、2050年に8割の電気を再生エネで賄おうと議論されているのに対して、日本では2030年までに22~24%を目指しているのが実状とのことです。

このように世界でエネルギーの主役になりつつある再生エネは、日本にも影響を与え始めてい



日本再生可能エネルギー総合研究所代表 北村和也氏

ます。本年7月に政府が発表した第5次エネルギー基本計画では、再生エネが「主力電源」と明記されており、日本も再生エネの積極的活用に向かっていくことになります。

後半のトークセッションでは、そらべあ基金の代表理事・富田秀実が「ESG投資※など環境や社会課題をとらえた投資が活発化している今、再生エネは事業経営の要としてとらえる必要がある」と指摘しました。

再生エネの普及が、地球温暖化や気候変動の命運を握る今、私たちが暮らす地域や企業、NPOが連携して、未来を見据えた行動を起こさなければならぬと感じるセミナーとなりました。

このように世界でエネルギーの主役になりつつある再生エネは、日本にも影響を与え始めてい

ます。本年7月に政府が発表した第5次エネルギー基本計画では、再生エネが「主力電源」と明記

されています。本年7月に政府が発表した第5次エネルギー基本計画では、再生エネが「主力電源」と明記

されています。本年7月に政府が発表した第5次エネルギー基本計画では、再生エネが「主力電源」と明記

されています。本年7月に政府が発表した第5次エネルギー基本計画では、再生エネが「主力電源」と明記

されています。本年7月に政府が発表した第5次エネルギー基本計画では、再生エネが「主力電源」と明記

されています。本年7月に政府が発表した第5次エネルギー基本計画では、再生エネが「主力電源」と明記

されています。本年7月に政府が発表した第5次エネルギー基本計画では、再生エネが「主力電源」と明記

されています。本年7月に政府が発表した第5次エネルギー基本計画では、再生エネが「主力電源」と明記

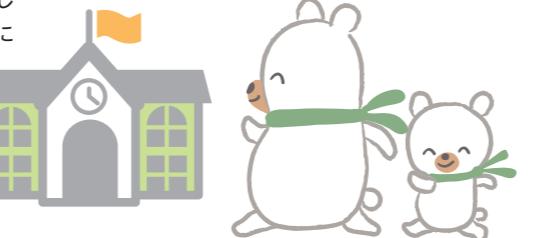
されています。本年7月に政府が発表した第5次エネルギー基本計画では、再生エネが「主力電源」と明記

そらべあ基金
事務局の
つぶやき

学校やイベントへ環境教室を出前いたします

そらべあ基金はこのたび、文部科学省「土曜学習応援団」、埼玉県「環境学習応援隊」の賛同・登録団体になりました。こうした国や自治体による活動は、社会全体で未来を担う子どもたちの豊かな成長を支えていくという趣旨のもと、企業やNPOが持っている知識やノウハウを学校や環境イベントなどで活かしていくことを目的に広がっています。

そらべあ基金はこれまでに約8,800名の子どもたちと一緒に、そらべあ環境教室を行ってきました。これからも、たくさんの子どもたちに地球環境を守っていく大切さを考えてもらう機会を提供していきます。出前授業に来てほしいというご要望があれば、ぜひお気軽に問い合わせください。



そらべあソポーターズクラブ

プレミアムサポーター ソニー損害保険株式会社

オフィシャルサポーター ソニー生命保険株式会社

そらべあ基金サポーター 株式会社ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント／

株式会社毎日新聞社／ゼロワットパワー株式会社

そらべあ基金応援団 株式会社東急ハンズ／日本風力開発株式会社／

株式会社ディノス・セシール／株式会社シール堂印刷／

株式会社NTTスマイルエナジー／

個人・ファミリーサポーター 29名

(2018年8月31日現在)

読み終わったら、捨てずに回し読みしてね。

そらべあ便り vol.36

2018年9月発行

編集: 青木一夫

デザイン: 草薙聰子

NPO法人 そらべあ基金

〒105-0004

東京都港区新橋2-5-6

大村ビル8F

TEL : 03-3504-8166

FAX : 03-5157-3178

<https://www.solarbear.jp>

そらべあ便り

Solarbear Newsletter | Vol.36

持続可能な
未来を描こう

www.solarbear.jp

© Shinzi Katoh



暑い夏、環境教育やイベントにそらべあが続々と登場

今年の夏は、日本でも40℃を超える地域が出るなど、本当に暑かったですね。地球温暖化がいっそう進んでいるのではないかと心配されます。

そんな暑い夏、6月～8月にかけて、そらべあ基金は東京都と埼玉県の2つの小学校と3つのイベントで環境教育＆ワークショップを実施。合計300名を超える子どもたちに、地球温暖化と自然エネルギーについての授業を行い、また、ソーラーLEDランプ作りに挑戦してもらいました。

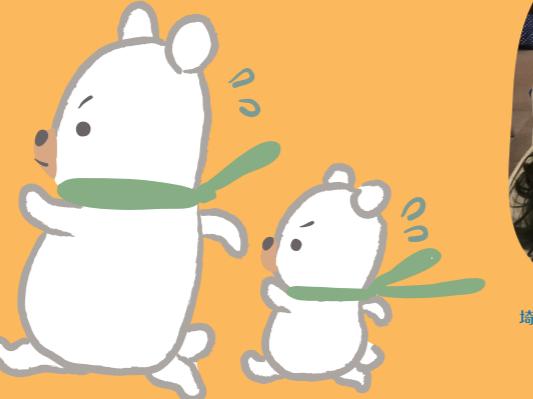
それぞれの授業やイベントでは「そら」や「べあ」も登場。目から涙が流れているのを見て、子どもたちは「どうして泣いているんだろう?」と考えます。そこで、そらべあの物語をムービーで紹介。涙の理由が、住んでいた北極の氷がとけて、お母さんと離れ離れになってしまったことを理解してもらいます。そこから、「なぜ氷がとけたの?」「地球温暖化って何?」から始まり、「温暖化の原因是CO₂が増えたから」「温暖化が進むと困ったことがいろいろ起きるよ」といった内容をクイズもまじえながら説明していきます。

「では、CO₂を出さないで電気を作るにはどうすればいい?」そこで、登場するのが手回し発電機。でも、電球を1個つけるだけでもとても

力が必要なことがわかります。そこで、太陽光や風力、水力を使って、CO₂を出さずに発電できる「自然エネルギー」があること、これからの社会は、自然エネルギーをもっともっと増やしていかなくてはならないことを学びます。

クイズの後は、太陽光で発電した電気で灯るLEDランプ作りに挑戦。マスキングテープやそらべあのスタンプを使って、1人1人がオリジナリティを發揮して、素敵なソーラーLEDランプができ上がっていきました。

参加してくれた子どもたち、保護者の皆さま、先生方、主催者の方々、協賛企業の皆さま、ありがとうございました。



福井県・新田塚幼稚園で「そらべあ発電所」寄贈式典を実施

福井県で初めてとなる「そらべあ発電所」が、福井市「認定こども園 新田塚幼稚園」に寄贈され、6月18日(月)、その記念式典が行われました。

1970年創立の同園は約300名の子どもたちが在籍する県内有数の大きな幼稚園。当日は、約120名の園児と先生方、協賛企業のソニー生命保険株式会社の皆さまや、報道各社の方々にご出席いただきました。

式典は、「そらべあ物語」の紙芝居朗読で始まり、「そら」と「べあ」が再びお母さんと一緒に暮らせるようになるために、みんなでできるエコアクションと一緒に考えたり、手回し発電体験をしたりして、エネルギーの大切さを学びました。

福井県・新田塚幼稚園



広い園庭で、そらべあ兄弟と記念撮影

園児たちもお礼として、素敵なダンスと歌を披露。最後に荒川慈文園長から「地球がこれ以上暖かくなつて、北極にそらべあたちが暮らせなくなつてしまわぬように、みんなできることをしましよう」という言葉をいただき式典が締めくされました。

協賛いただきましたソニー生命の皆さま、ご協力いただいた関係者の皆さま、どうもありがとうございました。



北極の氷が減っていることを説明する
そらべあ基金・箕輪理事



寄贈プレートを手渡すソニー生命・田部井執行役員(左)と
新田塚幼稚園・荒川園長(右)

Solarbear
そらべあ
calendar
2018



©Shinzi Katoh

10

SUN MON TUE WED THU FRI SAT

1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31

11

SUN MON TUE WED THU FRI SAT

1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30

12

SUN MON TUE WED THU FRI SAT

1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30 31